

年末年始無災害運動

年末年始は慌ただしく、気持ちが焦り、焦りは怪我や事故を誘発してしまいます。安全で健康な一年を締めくくり、新しい年を迎えられるよう、以下のポイントに取り組みましょう。



『きっちり確認 ゆっくり休息 しっかり準備 年末年始無災害』



スタッドレスタイヤに



雪用タイヤやチェーンの準備はできていますか？降雪地域では、早めにタイヤ交換をしましょう

掃除の前に電源オフ



エアコンや設備の掃除をするときは、ケガをしないよう、必ず電源を切りましょう

天気予報を確認



お出かけ前に天気予報を確認しましょう特に山あいの天気は変わりやすいです

余裕をもった出発

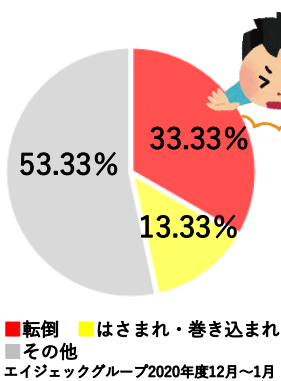


深呼吸ができる時間を作るためにも、5分前行動を心がけましょう事故のモトです

冬に気を付けたい転倒災害

2020年度12月～1月に発生した業務・通勤災害で最も多かった要因は、『転倒』でした。怪我をしてしまうと、痛い思いをしますし、日常生活にも影響してしまいます。

業務・通勤災害発生要因



コードをまとめる



電源コードを伸ばしたままで、暖房器具を使っていませんか？バンドでまとめましょう

水たまりに注意



水が溜まっている場所は、避けて通りましょう床の汚れに気付いたら、すぐに掃除をしましょう

照明を点けよう



ほんの少しの移動でも、暗い通路や倉庫を歩くときは照明を点けて、足元を明るくしましょう

冬期休暇の過ごし方

年末年始は、多くの方が冬期休暇をとられます。体調を崩してしまうと、つらい年始となってしまいます。お休み中も、以下のポイントを心がけて、健やかに過ごしましょう。

オンライン診療



かかりつけ医がオンライン診療をしているか、確認しましょう受診が遅れると、治療が長引きます

加湿をしよう



空気が乾燥すると感染リスクが高まります水を入れたコップや濡れたタオルを掛けて加湿をしましょう

換気をしよう



30分に1回、5分間程度窓を全開にして、換気をしましょうドアを開けると、効率的に空気が入れ替わります

手洗い・うがい



帰宅時だけでなく、外出先も、ドアに触れたあと、共用部分に触れたあとは手を洗いましょう

来月の行事

- ① 年末年始無災害運動
- ② 防災とボランティア週間
- ③ 安全衛生教育促進運動

